

第19回行徳臨海部まちづくり懇談会

◀ 戻る



第19回目の行徳臨海部まちづくり懇談会が、平成18年7月18日(火)に市川市研修室にて開催されました。

会議では、行徳臨海部の課題に係る最近の状況について事務局から報告があった後、街づくりと護岸整備イメージ、人と水と緑のネットワークについて意見交換が行なわれました。

<写真>

第19回行徳臨海部まちづくり懇談会の様子

【開催日時】 平成18年7月18日(火曜日) 18時30分～20時

【開催会場】 市川市研修室

【出席委員】 西村幸夫(東京大学教授)※座長 熊川芳男(行徳地区自治会連合会)
佐野郷美(市川緑の市民フォーラム) 安達宏之(三番瀬環境市民センター)
丹藤翠(行徳まちづくりの会) 東良一(行徳野鳥観察舎友の会)
及川七之助(南行徳漁業協同組合) 富田伸彦(市川市塩浜協議会まちづくり委員会)
田中幸太郎(市川青年会議所) 田中晋一(都市再生機構千葉地域支社)
平出純一(市川市助役) <敬称略>

【会議次第】 1. 開会
2. 行徳臨海部の課題に係る最近の状況について(報告)
ア) 主な経緯について
イ) 今後の予定について
3. 塩浜護岸について
4. 行徳近郊緑地市民懇談会について
5. 人と水と緑のネットワークについて
6. その他
7. 閉会

【会議資料】 [行徳臨海部の課題に係る最近の主な経緯\[資料1\]](#)
[行徳臨海部の課題に係る今後の予定\[資料2\]](#)
「陸と陸との連続性・護岸」事業計画[資料3]

[市川市長から千葉県知事へ提出した要望書\(「塩浜1丁目地先護岸の管理移管等について」\)](#)

[「千葉県三番瀬再生計画\(事業計画\)\(素案\)」に係るパブリックコメントの結果について\[資料4\]\(千葉県ホームページへ\)](#)

[PDFファイル 440KB] ※懇談会では7ページまでを資料として使用

[行徳近郊緑地の市民利用促進施策に関する市民懇談会設置概要\[資料5\]](#)

【議事内容】[ここをクリックしてください](#)

※各委員から提出された説明用資料については、掲載しておりません。懇談会の資料は、市川市役所市政情報センターなどで閲覧できます。

(作成:平成18年8月18日 最終更新日:平成19年1月12日)

[まちづくり懇談会トップページへ](#) [←第18回懇談会](#) [第20回懇談会→](#)

[⏪ 戻る](#)



市川市 街づくり部 行徳臨海対策課
Copyright (c) 2006-2007
Ichikawa City. all rights reserved.

行徳臨海部の課題に係る最近の主な経緯(H17. 12. 21以降)	
年月日	内容
平成17年	平成18年7月18日
12月21日	第18回行徳臨海部まちづくり懇談会開催(市川市)
12月27日	第9回「三番瀬再生会議」開催(千葉県)
平成18年	
1月20日	第10回「三番瀬再生会議」開催(千葉県)
1月30日	第1回「塩浜1丁目護岸検討部会」開催(市川市)
2月1日	第20回「行徳臨海部対策本部」開催(市川市)
2月15日	第7回「市川海岸塩浜地区護岸検討委員会」開催(千葉県)
2月21日	第4回「三番瀬問題特別委員会」開催(千葉県議会)
2月22日	第4回「市川漁港勉強会」開催(県、市)
3月2日	第5回「三番瀬問題特別委員会」開催(千葉県議会)
3月23日	第6回「三番瀬漁場再生検討委員会」開催(千葉県)
	第11回「塩浜まちづくり研究会」開催(市川市)
3月28日	第11回「三番瀬再生会議」開催(千葉県)
3月30日	第1回「三番瀬環境学習施設等検討委員会」開催(千葉県)
4月14日	第6回「三番瀬問題特別委員会」開催(千葉県議会)
5月12日	第28回「三番瀬保全再生連絡協議会」開催(関係4市)
5月19日	第1回「三番瀬評価委員会」開催(千葉県)
5月21日	第3回「江戸川第一終末処理場計画地等に係る全体説明会」開催(県市合同)
5月23日	第2回「塩浜1丁目海岸検討部会」開催(市川市)
	第2回「三番瀬環境学習施設等検討委員会」開催(千葉県)
5月25日	第12回「三番瀬再生会議」開催(千葉県)
6月1日	第21回「行徳臨海部対策本部」開催(市川市)
6月8日	第29回「三番瀬保全再生連絡協議会」開催(関係4市)
6月14日	第7回「三番瀬問題特別委員会」開催(千葉県議会)
6月16日	第8回「市川海岸塩浜地区護岸検討委員会」開催(千葉県)
6月20日	第8回「三番瀬問題特別委員会」開催(千葉県議会)
7月14日	第13回「三番瀬再生会議」開催(千葉県)
7月18日	第19回行徳臨海部まちづくり懇談会開催(市川市)

[第19回行徳臨海部まちづくり懇談会のページへ](#)

(作成日:平成18年8月18日)

行徳臨海部の課題に係る今後の予定	
年月日	内容
平成18年	平成18年7月18日
7月20日	第9回「三番瀬問題特別委員会」開催(千葉県議会)(全般、知事出席)(予定)
7月23日	第14回「三番瀬再生会議」開催(千葉県)(予定)
7月24日	第3回「三番瀬環境学習施設等検討委員会」開催(千葉県)(予定)
7月27日	第7回「三番瀬漁場再生検討委員会」開催(千葉県)(予定)
8月下旬	第10回「三番瀬問題特別委員会」開催(千葉県議会)(提言取りまとめ)(予定)
9月27日	第15回「三番瀬再生会議」開催(千葉県)(予定)
11月21日	第16回「三番瀬再生会議」開催(千葉県)(予定)

[第19回行徳臨海部まちづくり懇談会のページへ](#)

(作成日:平成18年8月18日)

市川第20060627-0060号

平成18年7月5日

千葉県知事 堂本暁子 様

市川市長 千葉光行

塩浜1丁目地先護岸の管理移管等について

梅雨の候、貴職におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

また、平素は、本市のまちづくりに対し格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、市川塩浜護岸につきましては、知事が埋立の中止を決断されて以来、本市は再三にわたり県に管理の移管並びに本格的な改修をお願いしてまいりました。

その後、円卓会議の意向などを踏まえ、塩浜2・3丁目については、平成16年6月に海岸保全区域に指定され県管理となり、石積みの護岸整備がようやく始まりました。

しかしながら、塩浜2・3丁目護岸よりも何時倒壊するか判らないもっと危険な塩浜1丁目の護岸については、円卓会議の提言や再生会議並びに県が実施したパブリックコメントの意見等においても、早急な対応を迫られている状況のまま県として何ら具体の対応策が示されておりません。

塩浜1丁目護岸は、危険なため早急な対応が必要と指摘された円卓会議から約5年が経過しております。その間に鋼矢板の腐食が進み、大きな穴が全面に生じております。このような状況の中、平成17年4月には管理用道路に大きな陥没が、同年7月には、地震により鋼矢板の一部約30m間が大きく海側にはらむ被害が発生しました。この際、市が緊急に補修工事を実施したため、幸い人的被害はありませんでしたが、今後の台風や地震等に対し市民の生命、財産が脅かされる危険だけが年々増大している状況となっております。

つきましては、こうした厳しい状況を直視され、以下の事項を速やかに実施していただくよう要望するとともに、書面にてのご回答も併せてお願いいたします。

記

1. 二期埋立があるという前提で本市が護岸の管理者となった経緯を踏まえ、埋立を中止されたことにもない、市川漁港の改修位置に関わらず、本来の管理者である県が護岸の管理者となるべき移管の手続きを早急に進めていただきたい。

なお、市川漁港の位置については、18年度末までに決定する予定です。

2. 当面の危険を回避するための処置(護岸全面への石積み等)を早急に講じていただきたい。

3. 昨年度実施したはらみに対する応急補修工事にかかった費用について全額負担していただきたい。

[戻る](#)

(作成日:平成18年7月10日)

平成18年5月6日 環境清掃部 自然環境課

行徳近郊緑地の市民利用促進施策に関する市民懇談会設置概要

1. 趣旨

行徳近郊緑地は、「水と緑と野鳥の楽園」として都市部における貴重な自然環境を構成している。その本来の魅力を生かした適正な市民利用のあり方についての検討組織を市民参加により設置する。

施設の設置者である千葉県に対し、検討の成果として得られた見識を根拠に、市民の賢明な利用について、市川市としての提案を行うことを目的とする。

2. 市民懇談会の方針・方向性

施策として具体化するためには施設の設置者の了承が必要になることから、千葉県に納得して頂けるための、客観的な根拠に基づいた市川市民の高い見識を示すことを基本的な方針とする。

(市の意向)

- a. 鳥獣保護施設としての限定的・条件的開放エリアの明確化と一般開放、及びより緩やかな条件的開放エリアの拡大。
- b. 三番瀬・JR塩浜駅・江戸川第2終末処理場上部との、自然ネットワーク構築
- c. 市民利用施設の整備(周辺緑地、旧舟溜まり及び水路)
- d. 生物生息環境の改善に資する整備(良好な海水の導水・汽水域の拡大等)
- e. 生物生息環境(ハビタット)を良好に保全した上での自然環境に接する機会の増進

3. 市民懇談会の構成<案>(10名)

○学識経験者……4名(野鳥・底生生物・環境学習・都市計画の専門家 各1人)

野鳥の専門家……東京大学大学院 樋口広芳教授 生物多様性科学研究室

修士課程終了後保全生態学研究生 松岡好美氏に就任依頼予定

底生生物の専門家……東邦大学 風呂田教授推薦の庭野裕研究生に依頼予定

環境学習の専門家……前千葉県自然観察指導員協議会会長&千葉県環境学習アドバイザー
&市川市自然環境専門員高野史郎氏に就任依頼予定

都市計画の専門家……千葉大学園芸学部教授木下勇氏に就任依頼予定

○自治会関係者……3名(行徳連合会・南行徳連合会・かもめ自治会 各1人)

○一般公募による市民……2名

a) 4/11=パブリシティ・4/22=広報掲載・公募期間(4/22~5/2)

b) 800字以内で「市民懇談会への応募に寄せて」等の応募趣意書を添付して応募

c) 応募者多数の時は、環境清掃部・街づくり部・水と緑の部・行徳支所・生涯学習部の各次長で組織する選定委員会において、選別する。

○現場の管理担当者……1名

委託管理先のNPO法人行徳野鳥観察舎友の会職員 佐藤達夫氏に就任依頼予定
(イギリス国立保護協会鳥類保護区で湿地管理に従事)

4. 市民懇談会設置までのスケジュール

- (1)市民懇談会設置要領の策定(別紙(案)参照)
- (2)公募市民の選定方法の決定 → 公募委員募集(広報4/22号予定) → 選定 → 委嘱
- (3)学識・自治会関係者委嘱 → 個別に依頼(5月下旬まで)
- (4)懇談会活動期間及び開催回数(6月下旬～1月下旬:6回の開催を予定)

5. 市民懇談会の実施スケジュール(日時は前後する可能性あり)

a. 会議は公開とし、平日18:00～20:30を予定する。

○第1回懇談会6月27日(火)・内容:行徳近郊緑地の歴史的経緯、法律的位置付け等について自然環境課職員が説明

○第2回懇談会7月22日(土)・内容:類似施設見学(ラムサール登録湿地:谷津干潟)
9:00～12:00(潮位の関係) 谷津干潟自然観察センターに説明依頼

○第3回懇談会(8月下旬)・内容:野鳥・底生生物専門家による講義
(三番瀬再生計画・ラムサール条約に関する解説)
専門委員及び県職員に講師依頼
【以上共通知識・認識の醸成】

○第4回懇談会(10月上旬)・内容:構成員の意見の収集・討議
委員による案の提示及び検討のたたき台を提示し、検討を依頼

○第5回懇談会(11月下旬)・内容:構成員による意見・提案等の集約
第4回の継続検討及び集約の方向性提示

○第6回懇談会(1月下旬)・市民意見の反映～懇談会の提案最終確認

6. 県職員のオブザーバー参加について

a. 県自然保護課及び公園緑地課にオブザーバーとしての参加を要請

7. 成果の活用

○科学的根拠を持った地元県民の要望として、県に再整備(案)の実現を要望する。

○本緑地の再整備を検討する「千葉県行徳内陸性湿地再整備検討協議会」へ提議する。

[第19回行徳臨海部まちづくり懇談会のページへ戻る](#)

(作成日:平成18年8月18日)